

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育(男子)

教 科： 保健体育 科 目： 体育(男子) 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 飯田 昌代 ） （ 内山 卓己 ） （ 川瀬 剛 ） （三井田 達人） （羽石 南） （松橋 慎吾）

使用教科書： （ ステップアップ高校スポーツ2022 ）

教科 保健体育 の目標：
【知 識 及 び 技 能】個人および社会生活における健康・安全について理解を深められるようになる
【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断できるようになる
【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。

科目 体育(男子) の目標：
【知識及び技能】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、障害にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・体づくり運動の必要性や運動の 行い方を理解することができ る。 ・仲間と協力しながら体づく り運動に意欲を持って取り組 む。	・体づくり運動 体ほぐしの運動 体力を高めるための運動 体の柔らかさを高める運動 力強い動きを高める運動	・体づくり運動の意義と行い方、運動の計画 の立て方などを理解している。 ・体づくり運動の意義と行い方、運動の計画 の立て方などを理解している。 ・健康や安全に留意しながら活動できる。	○	○	○	2
	・基本的なボール操作ができる ようになる。 ・自分たちで計画を立てて練習 に取り組むとともに課題を解決 していくことができる。	・種目選択 バレーボール テニス 卓球	・基本的なボール操作ができる。 ・一人ひとりが目標を持ち、仲間と共に共 有し、チームや自己の課題に応じた運動の取 り組み方を工夫している。 ・健康や安全に留意しながら活動できる。	○	○	○	24
	・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの基 本動作の仕方を身につけられる ようにする。 ・自己の課題の即した練習をして いるか確認し、グループ学習等で 仲間同士でアドバイスできるよ うにする。	・水泳 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ タイム測定、時間泳	・手と足、呼吸のバランスを保ち、安定した ペースで長く泳いだり早く泳いだりするこ とができる。 ・健康や安全に留意しながら活動できる。	○	○	○	9
							35
2 学期	・クロール、平泳ぎの基本動作 の仕方を身につけられるように する。 ・自己の課題の即した練習をして いるか確認し、グループ学習等で 仲間同士でアドバイスできるよ うにする。	・水泳 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ タイム測定、時間泳	・手と足、呼吸のバランスを保ち、安定した ペースで長く泳いだり早く泳いだりするこ とができる。 ・健康や安全に留意しながら活動できる。	○	○	○	6
	・基本的なボール操作ができる ようになる。 ・自分たちで計画を立てて練習 に取り組むとともに課題を解決 していくことができる。	・種目選択 バスケットボール テニス ソフトボール アルティメット	・基本的なボール操作ができる。 ・一人ひとりが目標を持ち、仲間と共に共 有し、チームや自己の課題に応じた運動の取 り組み方を工夫している。 ・健康や安全に留意しながら活動できる。	○	○	○	20
	・ドリブルや各種キックなどの ボール操作ができるようになる 。 ・自ら課題を見つけながら取り 組むことができる。	・必修種目 サッカー（フットサル）	・基本的なボール操作ができる。 ・ゲームの反省と課題をノートに簡潔にまと めることができる。	○	○	○	9
							35
3 学期	・基本的なボール操作ができる ようになる。 ・自分たちで計画を立てて練習 に取り組むとともに課題を解決 していくことができる。	・種目選択 バスケットボール テニス ソフトボール アルティメット	・基本的なボール操作ができる。 ・一人ひとりが目標を持ち、仲間と共に共 有し、チームや自己の課題に応じた運動の取 り組み方を工夫している。 ・健康や安全に留意しながら活動できる。	○	○	○	5
				○	○	○	
							5
							合計 75